

第2回御歌碑建立実行委員会開催 皇后さまの御歌碑 建立までの方針が決定

市民有志が立ち上げた皇后陛下御歌碑建立実行委員会の第2回となる会議は6月20日にとびあ庁舎で開催されました。同日は、建立に係る予算や石碑の建立候補地などについて話し合われました。

建立に係る予算は、市民や企業・団体から800万円を目標に協賛金を募り、700万円を建設費に100万円を事務・維持管理費に充てることを決定。建立場所は、両陛下が宿泊された「あえりあ遠野」の周辺を候補地とし、行幸啓から5周年となる平成30年7月の建立を目指すことを決定しました。

協賛金の協力については、11月をめどに自治会などの協力を得ながら、市内全世帯と企業・団体に協力を呼びかける予定です。



これまでの取り組みを報告し、今後の方針を決定

7月22日 金田一さん夫妻の慰問活動が20周年 円熟の夫婦舞台に笑顔キラリ

中央通りの金田一勝太郎さん(84歳)・久子さん(81歳)夫妻による福祉施設などへの慰問活動が20周年を迎え、老健とおので記念公演が開かれました。夫妻はウクレレとハーモニカの演奏に合わせ、手品や曲芸を披露。平成9年から開始し、今回で1050回目を迎えた円熟の夫婦舞台は、同所の利用者約50人に笑顔と元気を届けました。



笑顔を届ける金田一夫妻

【訂正とお詫び】7月号25項の記事でお名前に誤りがありました。次の通り訂正しお詫びします。誤) 愛美さん→正) 愛実さん

7月18日 杉原千畝顕彰碑へ献歌

リトニアの古歌を捧げる

戦時中のリトニアでユダヤ難民にビザを発行し、多くの命を救った杉原千畝の顕彰碑前で、同国出身のコトリーナ・シェシェルギーさん(ガリトニアの歌を捧げました。



顕彰碑の前で歌を披露するコトリーナさん

杉原の妻・幸子が本市出身であることから献歌が実現。関係者は顕彰碑のある蔵の道ひろばで、コトリーナさんの歌声に聞き入り杉原の功績をしのびました。

7月18日 被爆者・伊藤さんが万福寺に句碑を建立

原爆の悲惨さを後世に

広島で被爆した伊藤宣夫さん(89)は、大工町にある万福寺の境内に平和への願いを込めた石碑を建てました。石碑には平和と命の大切さを伝えるため、伊藤さんの原爆体験記と自作詩「平和の道を」が刻まれています。伊藤さんは「自分の若い頃と同じ思いを、後世の人にさせてはならない」と平和への思いを語りました。



石碑に思いを託す伊藤さん

7月19日 道・ネットワークシンポジウム

道路網整備を地方の活力に

道・ネットワークシンポ(同実行委主催)は市民センターで開催され、国や県、県内自治体の関係者ら約700人が参加しました。筑波大特命教授の石田東生氏による基調講演

のほか、土木学会の大石久和会長と藤井聰内閣官房参与との対談などを実施。参加者は、道路網整備を地域力向上につなげる重要性について理解を深めました。



県内外の関係者が遠野に集結しました

7月10日 JFAこころのプロジェクト「夢の教室」

夢の叶え方を伝授

小中学生に、夢を持つことの素晴らしさや、夢のために努力することの大切さを伝える「夢の教室」(日本サッカー協会主催)が土淵・附馬牛両小学校で開かれました。講師は、



ゲームを通して交流を深める秋本さん

200名ハードルでアジア最高記録を持つ秋本真吾さん。秋本さんは「小さな目標を達成することが大切」と努力のコツを伝えました。

7月13日 立丸第一トンネルの工事現場見学会

トンネル工事に興味深々

県の遠野土木センターは、国道340号の立丸第一トンネル(延長1839m)の工事現場見学会を開き、土淵小の4~6年生が参加しました。児童は、工事関係者から工事概要や



トンネルの工事現場に興味津々の児童

トンネルの役割について説明を受け、工事中のトンネル内部などを見学。掘削機の実演や漏水処理の実験も行われ、児童は目を輝かせながら見入っていました。

6月23日 遠野中学校「クリーン作戦」

清掃を通して郷土愛を育む

遠野中の全校生徒379人は、日頃からお世話になっている地域の人たちに感謝の気持ちを伝えようと、住んでいる自治会ごとに分かれて清掃活動を行いました。今年は、事



黙々と清掃に励みました

前に自治会の要望を聞き、各地域のニーズに沿った活動を実施。生徒は自治会館の窓ふきや地区周辺のごみ拾いなどに汗を流しました。

7月8日 花畑がSL銀河をお出迎え

キガラシ畑をSLが駆け抜ける

上郷町で花卉栽培を営む駒込和男さん(75)が数年前から育てているキガラシの花が見ごろを迎え、多くの人の目を楽しませました。釜石線の沿線に広がる花畑は、景観を楽しんでもらおうと駒込さんが植えたもの。SL銀河の運行日には、多くの写真愛好家が訪れ、キガラシの花とSLを写真に収めていました。



見ごろを迎えたキガラシの花とSL

アレックスのチャタヌーガ便り Vol.4

米国チャタヌーガ市と遠野市の交流を紹介！

姉妹都市提携に向け、両市の交流が活発に！

昨年9月、チャタヌーガ市役所のジェームズ・マキシック多文化推進室長をはじめ、友好訪問団9人が来遠。市役所表敬訪問や市内高校訪問、遠野まつりなどを通して市民との交流を深めました。私も訪問団の一員として、初め遠野の地を踏みしめた日を今でも鮮明に覚えています。今年の1月には、海外派遣交流事業として中高派遣生13人、市民視察ツアーとして飛内雅之副市長を団長に市民訪問団10人がチャタヌーガを訪れ交流しました。来月には両市が姉妹都市提携をします！ 今からとても楽しみです！

国際化推進支援員
アレックス・ヒューズさん



1 友好訪問団も遠野まつりに参加 2 視察ツアー歓迎パーティー 3・4 中高生も皆すっかり打ち解けました！

